# 令和　　6　　年度

公表　事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ○事業所名 | カンガルー療育支援室　世田谷ステーション | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和6年12月23日～令和7年1月31日 | | | |
| ○保護者評価有効回答数 | （対象者数） | 児童発達支援　7名<br>放課後デイサービス　20名 | （回答者数） | 児童発達支援　6名<br>放課後デイサービス　13名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和6年12月23日～令和7年1月31日 | | | |
| ○従業者評価有効回答数 | （対象者数） | 10名 | （回答者数） | 10名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年2月3日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 保護者様・お子様の施設利用満足度は高い。 | 多職種連携を常に意識しており、職種を超え全職員でお子様への支援を心掛けている。 | 引き続き多職種連携をし、お子様への支援・保護者様への丁寧な対応を心掛けていく。 |
| 2 | 理学療法士が常勤で在中しており、リハビリがいつでもできる環境下である。 | 朝の打ち合わせ時に必ず、「今日のリハビリを実施するお子様」の確認を行っている。通所日数や支援時間を加味し、リハビリ時間が取れていないお子様をその都度ピックアップし、満遍なくリハビリが実施できるように努めている。 | 立位台やSRCウォーカー等の専門的な器具は無い。可能な限り専門的な器具を揃えられるように努めていきたい。 |
| 3 | 職員全体がお子様の状態を把握できている。 | 朝の打ち合わせ後に、送迎に出る職員以外全員で前日のお子様お一人おひとりのご様子を話し、業務日誌に反映している。 | 長期休暇中以外は、情報共有できる時間を確保できているが、長期休暇中（特に夏休み）は、共有時間の確保が難しいこともある。職員増員をし、共有時間確保に努めたい。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練実施について保護者様への周知が十分にされていない。 | 月に一度の避難訓練は実施しているが、訓練日程は機関紙でお伝えしていない。日々の連絡帳には避難訓練を実施した日は記載をしているが、周知はできてない。 | 令和7年度からの機関紙には避難訓練の実施日を事前にお伝えする。 |
| 2 | 保護者様へ各種マニュアルの周知が十分にされていない。 | ご契約時や面談時にマニュアルをお見せしているが、膨大な量であり、施設来所時間内に見ていただくことは難しい。 | 今後各種マニュアルをQRコードで読み取り、ご自宅などでいつでも見られる環境を整えていく。 |
| 3 | 家族への支援及び兄弟姉妹向けのイベントのが全く実施できてない。 | これまでご要望等を伺っておらず、実施していない。 | 今後、保護者会の開催のご要望や交流できるイベントの開催のご要望があるかなど面談時にアンケートを実施していきたい。 |